

平成 30 年度 第 1 回理事会 議事録

1. 日 時 : 平成 30 年 5 月 9 日(水) 15:00~16:45
2. 場 所 : 青森県観光物産館 アスパム(9階 南部)
青森市安方一丁目 1 番 40 号 Tel.017-735-5311
3. 出席者 : 小島 佳也、石山 雅大、齋藤 浩治、三上 英子、藤田 絵理子、野坂 知加、
三上 昭夫、三上 ルリ子、柴田 絵里子、木津 綾乃、田代 博美、津田 昭子、
野坂 嘉友、濱谷 修、宇野 善成、太田 孝雄、吉岡 治彦
- 欠席者 : 櫛引 美穂子、成田 好孝

定款第 5 章第 32 条及び諸規定により、議長に小島会長があたり、書記に柴田理事が指名され、審議が行われた。

【報告事項】

1) 事業内容・会計監査報告

○事業内容について

小島会長より以下のとおり報告があった。

- ・「検体採取に関する厚生労働省指定講習会」が行われるようになってから 4 年目になるが、全国的に開催回数が削減されており、今年度の仙台での開催は 7 月 21, 22 日と 10 月 27, 28 日の 2 回予定されているが、来年度の開催は 1 回になる可能性も出てきた。青森県内の受講者はまだ半数をわずかに超えた程度であるため、まだ受講していない場合は積極的に受講されるようお願いしたい。
- ・昨年 6 月に医療法が改正され、検体検査の精度管理に関する事項が盛り込まれることになった。試薬管理台帳や標準作業手順書、作業日誌などが義務付けられ、現時点でこのような書類が無い場合は今後準備する必要が出てきた。このような流れに取り残されないようにするためにも、なお一層の技師会活動への参加をお願いしたい。

藤田常任理事より配布資料に基づき会務報告、事業報告があった。

○会計報告

三上会計から資料として配布された「平成 29 年度 一般社団法人青森県臨床検査技師会 収支計画書」について報告があった。

○会計監査報告

宇野監事より平成 30 年 5 月 8 日(火)に弘前大学医学部附属病院検査部技師室において平成 29 年度の監査を実施したところ、「会務および会計が適切に行われていることを認める」との報告があった。

2) 第4回理事会議事録報告

資料として配布された『平成29年度 第4回理事会議事録』に従って小島会長より報告があり、議事録内容の了承を求めたところ、出席者全員が異議なく了承した。

3) 学術部経過報告

石山学術部長より以下のとおり報告があった。

- ・青臨技研修会ならびに支部研修会が滞りなく終了した。
- ・平成30年度青臨技検査研究部門において部門長の約半数、部門員約2/3が変わるため申し送り等をしっかりと進めていきたい。

4) 公益部経過報告

齋藤公益部長より今年度の心電図検診についての実施状況、トラブル等の報告があった。

5) 渉外部経過報告

三上渉外部長より特になしと報告があった。

6) 事務局経過報告

野坂事務局長より、配布資料に基づき以下について報告があった。

- ・青臨技関連経過報告
- ・北日本支部関連経過報告
- ・日臨技関連経過報告
- ・関連団体経過報告
- ・青臨技支部関連経過報告

7) その他

小島会長より以下の報告があった。

- ・役員推薦委員会で推薦された平成30年度の理事候補について。
- ・横山慶一氏が瑞宝双光章を受章された。6月9日の情報交換会において功労賞、奨励賞受賞祝賀会と併せて祝賀会を行いたい。

【議題】

1) 平成30年度定時総会について

- ・野坂事務局長より平成30年度定時総会役員割り当て、学会・総会スケジュール案について説明があった。
- ・齋藤公益部長より以下の説明があった。
北日本学会でウェブアンケートを実施する予定で現在システム作成中であるが、学会

前に検証の必要があるため、6月10日一般演題終了後からランチョンセミナー開始までの約40分間で2会場同時にスマートフォンを使用したウェブアンケートを実施する予定である。

上記の事項について理事に諮ったところ了承された。

2) 第45回青森県医学検査学会について

- ・田代学会長より進捗状況について以下のとおり説明があった。
4月27日(金)に会場の下見をし、会場の他に理事会、情報交換会開催場所、講師控室等を確認した。また、5月11日(金)に会議を開催し、実務委員の担当割り当て等を決定する予定である。
- ・石山学術部長より5月26日(土)に理事数名も会場を確認しに行き、話しあいを行う予定であるとの説明があった。
- ・吉岡理事より学会に参加する弘前大学医学部保健学科の学生の受付やランチョンセミナー参加について質問があり、それに対して常任理事より受付時には学生証の提示をしてもらい、ランチョンセミナーには参加可能との返答があった。

上記の事項について理事に諮ったところ了承された。

3) 第7回日臨技北日本支部医学検査学会について

- ・齋藤学会長より以下の説明があった。
2月にホームページをオープンし、メーカーへ広告、機器展示、ランチョンセミナーを依頼していた。5月2日時点で、ランチョンセミナー10社、広告14社(目標30社)、機器展示28コマ(目標40コマ)である。目標に達していないものは直接依頼するなどして徐々に増えてきている。
また、配布資料に基づき学会の組織構成・担当、準備スケジュール等についても説明があった。
- ・吉岡理事より以下の質問があった。
昨年の北日本学会では学生の発表が発表部門に関係なく学生枠としてまとめられていたために聞きたい発表を聞くことができない場合もあった。また、発表する側としても同部門の方に聞いていただいた方がより理解していただけたらと思う。今回の学会の方針はどうなっていますか？
それに対して、今回は演題申込をした部門で発表できるようにしていきたいとの返答があった。

上記の事項について理事に諮ったところ了承された。

4) その他

石山学術部長から以下の依頼があった。

役員、委員で連絡先に病院の共有アドレス等を使用している方との連絡が十分にとれず、大変な場合があるため個人アドレスを使用するよう検討して頂きたい。

それに対し小島会長、齋藤公益部長より今後検討していくとの返答があった。また、連絡がとりづらいのは事務局の負担にもなっているため、今後の負担軽減のためにも事務局の採用を検討中であるとの返答もあった。

議長は以上をもって審議を終了したことを告げた。

会 長 印

監 事 印

印